

参加者アンケートの概要

1. アンケートの概要

第2次日向市総合計画・後期基本計画（令和3年度～令和6年度）の策定にあたり、市民の皆さんから頂いた意見を施策に反映するため、「私が住みたい10年後の日向市」を実現するために、「私たちがこれから何をすべきか」を皆さんと一緒に考える「参加者アンケート」を、別紙の様式を用いて行いました。

アンケートでは、具体的なアクションプランを提案していただき、後期基本計画への反映を図ります。

2. 第1回目アンケート

第1回目のアンケートでは、令和2年1月25日（土）に開催した第1回市民ワークショップで各班から出された意見を参考に、以下6つの「理想の未来」のテーマに対して、①「理想の未来（私が住みたい10年後の日向市）」と「ありそうな未来（現実）」のギャップと、②そのギャップに対する課題を考えていただきました。

3. 第2回目アンケート

第1回目のアンケートで出された「④ギャップを解消するために取組むべき課題」について、皆さんの意見を取りまとめ、多かった意見を参考に、市から以下のとおり「最優先課題」を提示しました。

参加者の皆さんには、各自考えてみたいテーマについて、その「最終課題に繋がる要因」と「解決策及び具体的な行動案」を考えていただきました。

「理想の未来」のテーマ		最優先課題
①市民の防災意識が高まり、災害時でも互いに助け合うことができ、安全で安心して暮らせるまち	→	自助・共助の意識を高め、備蓄や避難路・場所の確認をするなど災害に備える家庭を増やさなければなりません。
②地区の祭りや清掃活動などに住民が参加し、住民同志のつながりが保たれ、互いに助け合いながら暮らせるまち	→	自治会（区）に加入する人を増やし、地区（地域）の活動へ参加する子どもや若者を増やさなければなりません。
③市民の環境保全活動によって、海や山、川など美しく、豊かな自然が引き継がれ、自然の中で健康に暮らせるまち	→	子ども達が、自然の中で遊ぶ場所や方法を学び（知る）、郷土の自然への興味関心を高めなければなりません。
④若者同士の交流が盛んで、魅力のある場所や交流拠点があり、人と人との交流が生まれ、活気がある元気なまち	→	若者同士が交流する機会を増やすため、若者自ら交流できるイベントや場所などを作る必要があります。
⑤高齢者や若者、障がいのある人など全ての人が、やりがいを持ちながら、生き生きと働いているまち	→	女性が、生き生きと仕事をしやすい環境を作るために、家事や育児等の負担を軽減する必要があります。
⑥美しい自然や食、スポーツなどに魅力を感じる観光客が増え、地元の人と仲良くなって、移住する人が増えているまち	→	市民が、地元の魅力を再認識・再発見し、日向にしかない魅力の情報発信を強化しなければなりません。

1回目（5月実施）

①理想の未来

市内の高校を卒業した子どもたちが、地元企業に就職し、地元の伝統行事を守っている。

②ありそうな未来

市外の高校に進学し、県外に出た子どもたちが帰ってこず、地元のお祭りが出来なくなり、人が集う場所が無くなっている。

③両者のギャップの整理

- 市外に進学している子どもが増えている。
- 地元に働ける場所が少ない。

- 地元の祭りに参加する子どもが少ない。
- 人が集まるお祭りやイベントが少なくなり、参加者が高齢化している。

④ギャップを解消するために取り組むべき課題

- ・地元の高校に進学する子どもを増やす。
- ・若者が魅力を感じる“働ける場所”を増やす。
- ・地元の祭りに参加する子どもたちを増やす。
- ・地元の祭りを支える若者を増やす。

⑤最優先課題（④を整理して市から提示）

地元の祭りを守り、参加する子どもたちや祭りを支える若者を増やす。

⑥大きな要因（⑤の最優先課題につながる要因を整理）

- ・祭りに参加する子どもたちが減っている。
- ・伝統行事や祭りが減っている。

⑦小さな要因（⑥の要因につながる小さな要因を整理）

- ・習い事が忙しい
- ・高齢者が増え担い手がいらない
- ・祭りに魅力を感じられない
- ・伝統行事の重要性が理解されていない

⑧解決策の検討

- ・子どもたちに地元の伝統を伝えます。
- ・地域外の若者が参加できる仕組みを作ります。
- ・2つ以上の地区で協力して伝統行事を守ります。

⑨アクションプログラム（具体的な行動）

⑨ー1 市（行政）の役割

- ・地域の伝統等について記録を残し、誰もが活用できるようにします。
- ・市外からの協力者の募集を地区と協力して行います。

⑨ー2 市民（民間団体等）の役割

- ・地域新聞を子どもたち（育成会）で作ります。
- ・市外からのお祭り協力者に地元のお店で使えるクーポンをプレゼントします。
- ・2つの地区で開催していた伝統行事を、隔年で協力して開催します。

2回目（7月実施）